

Japanese Journal of Ichthyology
Vol. VIII, Nos. 3/4
July 31, 1961

魚類学雑誌
第8卷 第3/4号
1961年7月31日発行

航空機より観た魚群の生態

高嶋 静男・小川 義司

Observation of fish-shoals from an aeroplane

Shizuo TAKASHIMA and Yoshiji OGAWA

(水産航空株式会社 Fishery Aviation Co.)

私共は現在行はれている航空機の漁業協力飛行の運航に従事している関係で、魚群の色々な生態を観察する機会に恵まれるので、以下主として写真によつて報告してみたい。

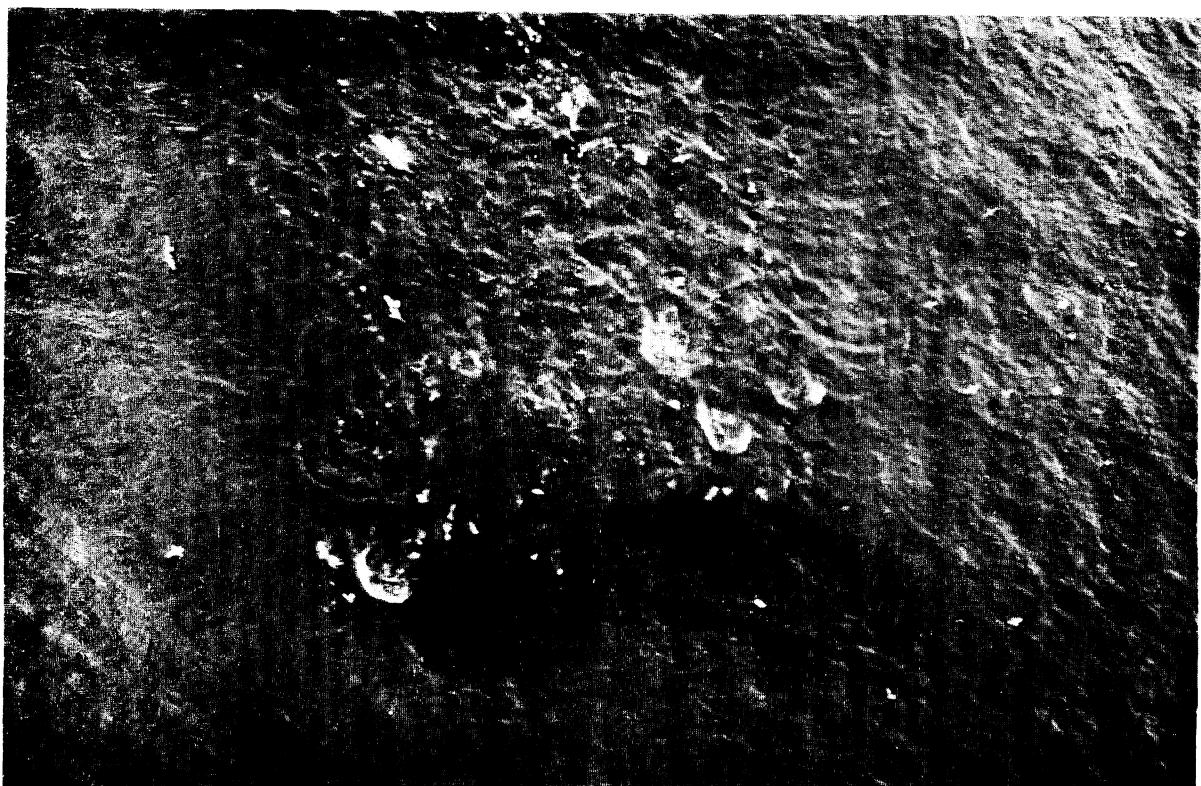
1. サバ群とイルカ (其の 1) (第 1~4 図)

撮影期日 1958 年 5 月 18 日。

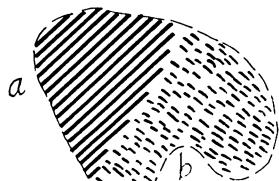
撮影時刻 13 時 50 分より 13 時 54 分の間。

撮影場所 茨城県磯崎 114 度 (磁方位) 48.5 涼。

第 1 図 サバ群は、この写真で其の魚体が粒状に見えるように游泳深度は浅く、一見群の状



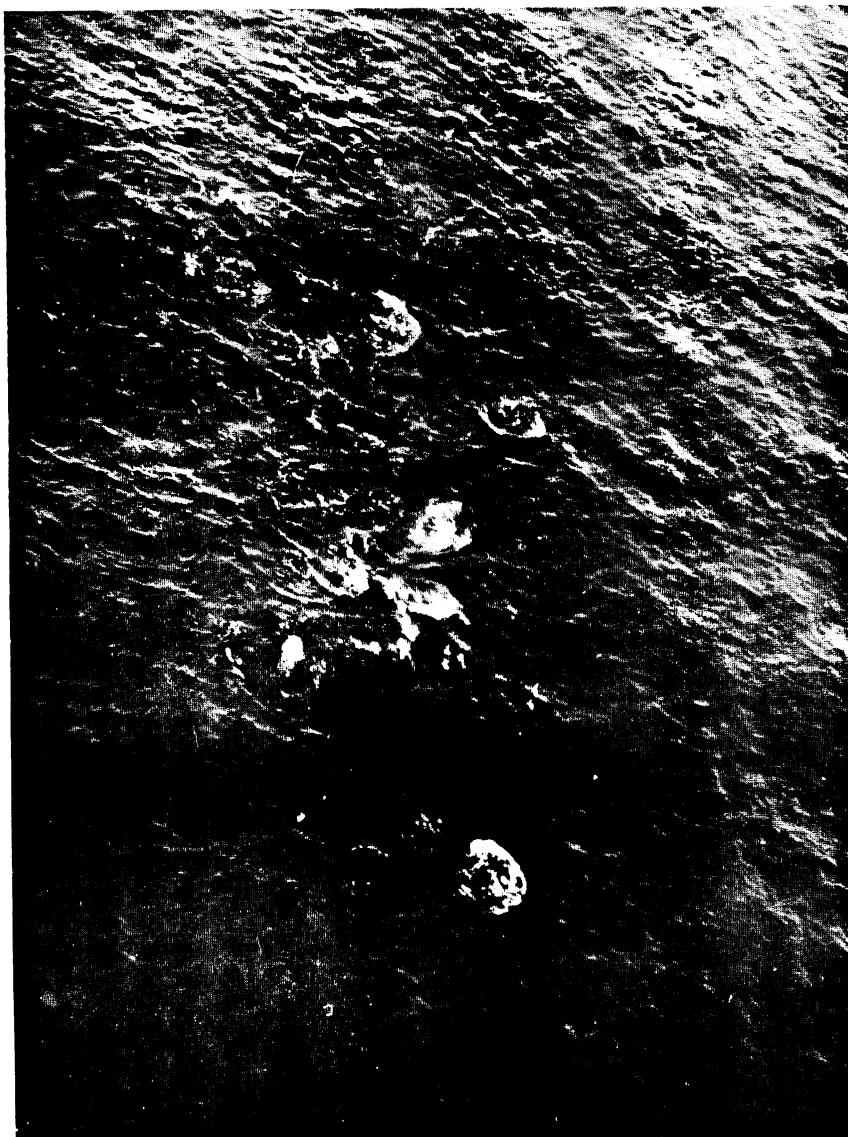
第 1 図



第 2 図

態は安定しているかに見受けられるが、10頭以上のイルカが、これに向って直進して居り、まさに襲はれる寸前の状態にある。

第3図は第1図の約1分半の後に撮影したもの。サバ群は1分半の間にこれだけの形態の変化を示している。即ち表面積を少くして防禦態勢をとり、第2図aの部分では潜没する事により（粒状が見えなくなり黒影となつてるのは粒状の部分より深い事を示す）、逃げようとし、第2図bの



第 3 図

部分は水平面で道を窺ける事により逃げようとしているように見られる。

第4図は第3図のさらに2分後に撮影したもの。この写真では全体的に粒状の部分がなくなり、第2図より、さらに深く潜没して退避の形態をとつている。中央の左側、2頭のイルカは向きを変えている。



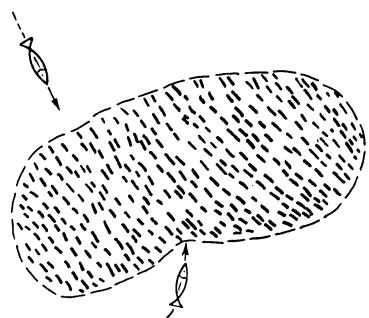
第4図

2. サバ群とイルカ（其の 2）（第 5～10 図）

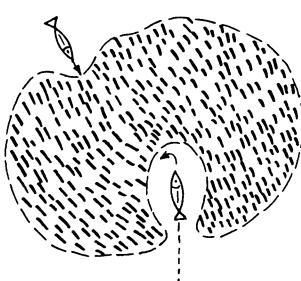
観察期日 1959 年 5 月 20 日。

観察時刻 15 時 28 分～15 時 31 分。

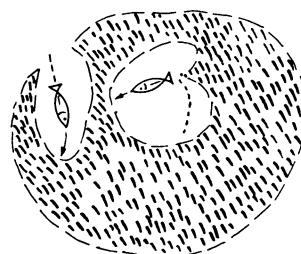
観察場所 磯崎 68 度（磁方位）30 哩。



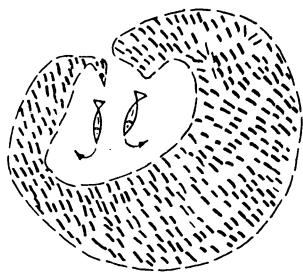
第 5 図



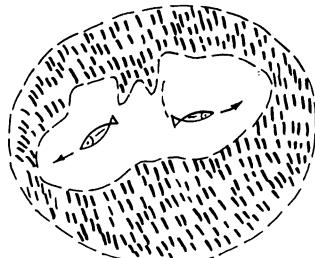
第 6 図



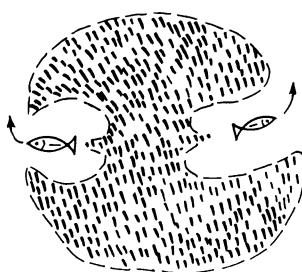
第 7 図



第 8 図



第 9 図



第 10 図

上図は極めて少数のイルカに襲はれた場合、サバ群が円形の態勢をくずさないまま、常時イルカの尻尾について、イルカの行先から逃げ、水平面の運動で退避する一例である。